

Welcome to

# the Delight World

日本たばこ産業株式会社  
2003年3月期事業報告書

Summer Issue 2003

## 2003年3月期 決算のご報告

文豪たちとたばこ

「山本周五郎」

New Face

「ルーシア」新商品開発ストーリー

New Products

マイルドセブン・ワンノ「渋茶」紅烏龍「トワイニングレディグレイ ストレートティー」/  
「お弁当大人気!」シリーズ

Brand History

マイルドセブン(前編)

Events

JT将棋日本シリーズ

MEET YOUR DELIGHT

Topics

SmoCar(スモーカー)

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

# ごあいさつ



平素は当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに「Welcome to the Delight World」(2003年3月期事業報告書)を株主の皆さまへお届けし、当社グループの業績ならびに今後の経営方針についてご報告申し上げます。

## 2003年3月期を振り返って

2003年3月期は国内たばこ事業における販売数量の減少を主因として、売上高は519億円の減少となりました。一方、利益面に関しましては、資料1の通り、EBITDA、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前期を上回る実績となりました。

営業利益に関しては、JTインターナショナルの連結調整勘定償却の停止による約110億円の増益効果がありましたが、これを除いても、前期の水準を上回る実績となりました。これは海外たばこ事業における利益成長と、前期に実施した早期希望退職などの構造変化を先取りした収益構造改革が主な要因です。なお、2003年3月期の営業利益、経常利益は会社化以降の最高益です。

利益面は対前期で増益を確保できましたが、国内たばこ事業における販売数量は総需要の減少を上回る減少となり、今後の大きな課題であると認識しています。

## 2004年3月期の業績予想

2004年3月期の業績予想についてご説明します。

2003年7月からたばこ税の増税が実施されますが、たばこ税増税による負担増に対して、当社としては吸収余力がなく、価格転嫁せざるを得ない状況です。そうした中、2004年3月期の業績予想は資料2の通りとしています。

売上高は増収の見込みですが、この中には国内たばこ事業における増税および海外たばこ事業における市場構成の変化などによるたばこ税の増加が含まれています。

利益面に関しては、定価改定に伴い、国内たばこ販売数量の減少が想定される中、海外たばこ事業の伸張および既に実施した国内におけるたばこ製造工場3工場の製造中止などのコスト削減効果などにより、経常利益は前期並みの水準を維持したいと考えています。当期純利益がマイナスとなっていますが、これは共済年金負担に関する会計上の一時的な要因によるものであり、また、キャッシュ・フロー上の影響はありません。

# 資料1

## 2003年3月期連結決算

国内たばこ事業における販売数量が減少したものの、海外たばこ事業の利益成長、コスト削減施策、JTインターナショナルにおける連結調整勘定償却の停止等により減収増益

国内たばこ事業における販売数量減を主因として、売上高は減少

海外たばこ事業の利益成長、早期希望退職による人員削減効果、JTインターナショナルにおける連結調整勘定償却の停止等により、営業利益は増益

前期に生じた早期希望退職の実施に伴う退職特別加算金、海外たばこ事業における事業構造強化費用が減少したこと等により、当期純利益は大幅増

(単位:億円)

	2002年3月期	2003年3月期	増 減
売上高	45,441	44,922	519
EBITDA	3,341	3,372	31
営業利益	1,638	1,889	251
経常利益	1,566	1,732	165
当期純利益	368	753	384
ROE	2.4%	4.7%	2.3%
FCF	314	1,703	1,389

# 資料2

## 2004年3月期連結業績予想

共済年金負担に関する会計上の一時的要因により、当期純利益はマイナスとなるものの、キャッシュ・フローへの影響はない。

(単位:億円)

	2003年3月期実績	2004年3月期見込	増 減
売上高 <sup>(注1)</sup>	44,922	45,800	878
経常利益 <sup>(注2)</sup>	1,732	1,740	8
当期純利益 <sup>(注2)</sup>	753	200	953

(注1)売上高の増加878億円のうち、国内外のたばこ税の増加は約1,000億円。  
 (注2)共済年金負担に関する会計方針の変更に伴い、1,850億円の特別損失を計上する。これに伴い、支出時の費用計上が減少するため、経常利益が120億円程度増加する。他方、これらによる当期純損益への影響額は税効果等を考慮し、1,020億円程度となる。

業績予想に関しては3ページの「将来に関する記述等についてのご注意」もあわせてご覧ください。

## 配当について

続きまして、配当についてご説明します。

当社の配当に関する基本方針は、「『Plan 2004』の経営目標達成状況および中長期の収益見通しを踏まえつつ、配当水準の段階的向上を図る」というものです。

先程、ご説明しました通り、2003年3月期は増益を確保しました。2004年3月期は会計上の一時的な要因を除けば、当期純利益は実質増益の見込みです。そうした足元の実績を踏まえつつ、基本方針にのっとり、2003年3月期の期末配当金を1株当たり6,000円とし、年間配当金は1株当たり10,000円とさせていただきます。増税をはじめ、たばこ事業を取り巻く環境は国内外を問わず、厳しい状況ですが、2004年3月期においても、現行の配当水準<sup>注)</sup>を維持したいと考えています。

## 社会における「かけがえのない存在」へ

当社は、現在を「第二の創業期」と位置付け、2002年4月、新ミッション「JTブランディング宣言」を策定しました。たばこ、医薬、食品等の事業をはじめとするあらゆる企業活動を通じて、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーズに「かけがえのないDelight」「期待を越える驚き、喜びといった、当社ならではの付加価値」を提供することを「ブランディング」と定義し、それを実現することにより、社会において「かけがえのない存在」になりたいと考えています。

当社は、この「JTブランディング宣言」に沿った活動を行うことにより、キャッシュ・フローを成長させ、企業価値の増大を図り、ステークホルダーズの皆さまの信任を得られる経営に努めてまいります。

2003年6月

代表取締役社長

本田勝彦

(注) 2004年3月期の1株当たりの年間配当予想は10,000円(中間配当5,000円、期末配当5,000円)です。

### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているにすぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。そのうち、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

(1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大 (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等) 喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等 (3) 国内外の訴訟の動向 (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力 (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力 (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化 (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響 (8) 国内外の経済状況 (9) 為替変動および原材料費の変動

## 社長インタビュー



国内たばこ事業における販売数量の低迷が続く中、今年もたばこ税の増税があります。国内たばこ事業においては今後どのような取り組みを考えていますか。

(本田) 総需要の減少傾向およびシェアの低下が続く中、増税は厳しい利益減少要因ですが、利益への影響を最小限に食い止めるべく、売上高の維持とさらなるコスト削減に引き続き努めていきます。

売上高の維持に関しては、営業力の強化に加え、商品開発・投入にも従来以上に注力していきます。2002年度末に高価格帯に投入した低臭気たばこの「ルーシア」や1mg市場における競争力強化に向けて発売した「マイルドセブン・ワン」は発売からまだ日が浅いものの、順調にシェアが伸張しており、非常に大きな手応えを感じております。今後とも、お客さまのニーズを的確にとらえ、ご支持いただける商品を新規市場および伸張分野へ積極的に投入し、ブランドとして確立していきたいと考えています。

一方、コスト構造改革についても着実に進めていきます。昨年発表した、たばこ製造工場8工場の閉鎖のうち、3工場については予定通り2002年度末までに製造を中止しました。経常経費の削減に関しては、社内プロジェクトチームを立ち上げ、部門横断的な調達コストの低減を行っています。また、変動費の削減に関しても、国内において材料費を中心にコスト削減を強化するとともに、外葉原料に関しても、JTインターナショナルと連携した共同購買を既に開始しています。

海外たばこ事業、医薬事業、食品事業の今後の方向性はどうか考えていますか。

(本田) 海外たばこ事業に関しては、これまでのところ、比較的順調に利益成長を続けています。その一方で、WHOにおける「たばこ対策枠組条約」やEUにおけるたばこ規制に対する動きなど、事業環境は年々厳しさを増しています。そうした規制等の動きに対し、適切に対応していくとともに引き続きグローバル・フラッグシップ・ブランド(CAMEL, Winston, MILD SEVEN, Salem)を中心とした売上高の成長と事業体質の強化を図っていきます。

医薬事業に関しては、目標である年3品目の臨床入りには届きませんでしたが、2002年度新たにC型肝炎治療薬と高脂血症治療薬の2品目を臨床入りさせることができました。一方、1年前と比較し、既存臨床開発品目の中でステージアップしたものがなく、早期のステージアップに向けた臨床開発体制の強化が重点課題です。

食品事業についてですが、まず、加工食品事業についてはベーカリー事業の立ち上げも含め、おおむね順調に規模拡大が図れたと考えています。一方、飲料事業については自動販売機販路の拡大などにより2002年度の実績は上回ったものの、手売販路は期待レベルに及びませんでした。今後とも、差別性のある商品の開発・投入に努めるとともに、自動販売機販路の充実・強化、手売販路の活動強化・効率化に注力していきます。

2004年3月期の当期純利益がマイナスとなる要因である共済年金負担について説明してください。

(本田) 共済年金負担とは、公的年金負担に要する費用のうち、昭和31年6月以前(公共企業体職員等共済組合法施行日前)の給付対象期間に係る共済年金給付費用の負担であり、事業主が負担することとされています。共済年金負担については従来、支出時に費用計上していましたが、財務体質の一層の健全化に向けて、2003年4月より適用された独立行政法人会計基準の改訂も踏まえ、2004年3月期より当該共済年金負担に係る負債額を算定し、退職給付引当金に含めて計上することとしました。これに伴い、2004年3月期に一時的な特別損失が発生します。

なお、社会保険庁などからの請求に基づく支払行為はこれまで通り行いますので、キャッシュ・フロー上の影響はありません。

# 営業の概況

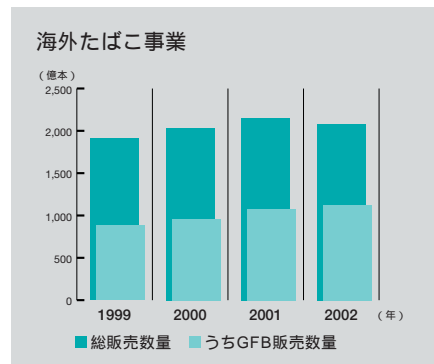
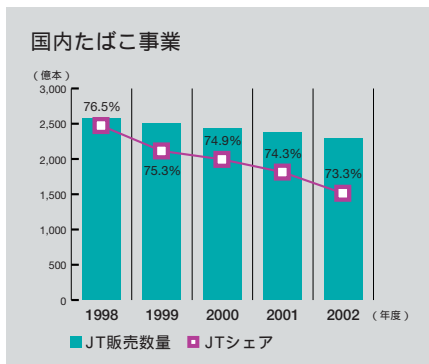
## 〔たばこ事業〕

たばこ事業につきましては、国内では主要ブランドの強化およびお客さまの嗜好に対応した新製品の開発、投入を行うとともに、市場特性に応じた積極的かつ効率的な販売促進活動に努めました。主要ブランドであるマイルドセブンにつきましては、2003年3月に「マイルドセブン・ワン」を発売しました。また、嗜好の多様化に対応して、2002年8月から「アイシーン・スーパー・クーリング・メンソール」を東海4県（静岡県、愛知県、岐阜県、三重県）限定で発売し（2003年5月より全国拡販）、2003年2月には当社独自の技術による低臭気、低副流煙の機能を付加した「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」を東京都限定で発売しました。加えて、2002年7月には2004年度末までに8カ所のたばこ製造工場を閉鎖することを決定し、2003年3月末には、うち3カ所の工場（仙台工場、名古屋工場、橋本工場）における製造を中止する等、コスト競争力強化に向けた施策を順次進めてまいりました。しかしながら、当連結会計年度における国産紙巻たばこの販売数量は、総需要の減少傾向が続く中、前年度に比べ、81億本減少し2,290億本（前年度比3.5%減）シェアは73.3%（前年度比1ポイント減）となりました。また、千本当たり売上高は10,863円（前年度比6円増）となりました。

海外におけるたばこ事業につきましては、子会社JT International S.A.を中核として、継続的かつ効果的な販売促進活動等により、持続的成長に向けて積極的に事業を展開いたしました。また、GFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）の一つである「キャメル」に関しましては、喫味改善、デザイン変更を実施し、欧州市場から順次、投入してまいりました。また、引き続き、収益力強化に向けた事業構造強化施策に取り組んでまいりました。こうした取り組みの結果、当連結会計年度における紙巻たばこの販売数量は、前年度に比べ72億本減少し、2,078億本（前年度比3.4%減）となりましたが、GFBの販売数量は前年度に比べ46億本増加し、1,124億本（前年度比4.3%増）と、順調な成長を見せました。

この結果、海外たばこ事業におけるGFBの販売数量伸長による売上高の増加等はありませんでしたが、国内たばこ事業における販売数量減少による影響が大きく、売上高は4兆1,344億円（前年度比1.0%減）となりました。利益面では、国内たばこ事業におけるコスト削減および海外たばこ事業におけるGFBの販売数量増加に伴う利益率の改善等や、海外子会社における連結調整勘定の償却処理の変更等により、営業利益は2,133億円（前年度比11.0%増）となりました。

なお、当連結会計年度における紙巻たばこの生産数量は、4,075億本（前年度比4.7%減）となりました。



## 〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、自社における研究開発力の一層の充実、強化を図る一方、海外の企業とも共同で研究開発を進めてまいりました。開発状況としては、当連結会計年度においてC型肝炎治療薬と高脂血症治療薬の2品目が臨床開発段階へ移行し、現在、自社開発品8品目の臨床試験を行っています。なお、国内で第2相臨床試験を終えた段階にあった糖尿病治療薬について、2002年10月、国内での臨床開発を中止しました。同剤につきましては、1998年6月に韓国を除く海外について開発・販売権の導出を行っていましたが、ライセンス契約締結先の米国のファルマシア社においても臨床開発の中止が決定されました。

### 臨床開発品目(2003年5月8日現在)

開発名	適応症	開発段階
JTE-52X(経口)	炎症 家族性大腸腺腫症(FAP)	国内:Phase2
JTE-607(注)	全身性炎症反応症候群	国内:Phase2 海外:Phase1
JTV-803(注)	血液凝固阻止	国内:Phase2 海外:Phase1
JTT-705(経口)	高脂血症	海外:Phase2 国内:Phase1
JTT-811(経口)	糖尿病性合併症	国内:Phase2
JTK-003(経口)	C型肝炎	国内:Phase2 海外:Phase1
JTK-109(経口)	C型肝炎	国内:Phase1 海外:Phase1
JTT-130(経口)	高脂血症	国内:Phase1 海外:Phase1

また、米国のアグロン社と共同開発し、米国、欧州および日本等で販売しております抗HIV剤「ピラセプト」につきましては、競争激化に伴い、ロイヤリティ収入が減少いたしました。当社の子会社である鳥居薬品(株)につきましては、2002年4月からの薬価改定の影響および主力品である蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」の後発品の影響等により売上高は減少いたしました。

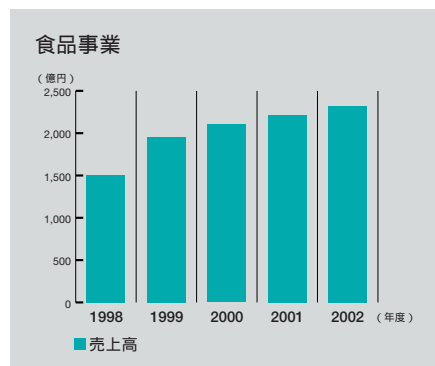
この結果、抗HIV剤のロイヤリティ収入の減少および鳥居薬品(株)売上高の減少等により、売上高は539億円(前年度比12.8%減)となり、利益面では、研究開発費の減少等により販売費及び一般管理費が減少したため、営業損失は138億円(前年度比27.0%減)となりました。

## 〔食品事業〕

食品事業につきましては、新商品の開発、投入を行うとともに、販売チャネルの獲得、強化にも努め、事業規模の拡大を積極的に推進いたしました。

飲料事業においては、自社ブランド製品全体の販売数

量は前年度に比べ微増にとどまりましたが、「ルーツ」シリーズのラインナップを充実、強化するとともに、MBP(ミルク・ベーシック・プロテイン)配合の機能性飲料「SENOBY(セノビー)」を投入し、それぞれ販売実績は好調に推移いたしました。また2003年3月には、国産茶葉100%の緑茶飲料「渋茶」および発酵度の高い烏龍茶葉のみを使用した「紅烏龍(いずれも無香料、無調味)」を発売し、国内最大市場である無糖茶市場への積極的な商品投入を行うとともに、2003年4月より世界有数の紅茶ブランドである「トワイニング」の飲料製品を発売しております。また、自動販売機オペレーター子会社である(株)ジャパンビバレッジを中心として、自動販売機販路の拡充も着実に実施いたしました。



加工食品事業においては、市販用冷凍食品の「大人気!」シリーズのラインナップの充実、強化に努めるとともに、優位性のある自社開発技術を軸にベーカリー事業の展開を図るべく、2002年5月、(株)東急百貨店より同社の子会社(株)サンジェルマンの全株式を譲り受けました。

この結果、飲料事業における自動販売機販路の拡大および加工食品事業における事業規模の拡大等により、売上高は2,324億円(前年度比5.1%増)となりました。利益面では、市場状況に応じた弾力的かつ機動的な事業運営に努めましたが、事業取得に伴う償却費負担の増等により、営業損失は131億円(前年度比11.0%増)となりました。

なお、2003年4月1日、営業力の強化および業務の効率化を目的として、加工食品の販売子会社であるジェイティフーズ(株)と、飲料製品の販売子会社であるジェイティ飲料(株)を合併いたしました(存続会社:ジェイティフーズ(株))。

## 〔その他事業〕

その他事業につきましても、積極的かつ効率的な事業運営に努めました。

この結果、売上高は714億円(前年度比14.0%減)となり、営業利益は9億円(前年度比48.1%減)となりました。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2003年3月期 (2003年3月31日現在)	対前期増減
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,346,364	44,210
固定資産	1,611,281	149,589
有形固定資産	733,313	10,398
建物及び構築物	311,367	6,326
機械装置及び運搬具	148,958	12,574
器具及び備品	54,082	2,624
土地	177,673	2,654
建設仮勘定	41,230	8,472
無形固定資産	712,129	102,306
連結調整勘定	381,601	49,900
商標権	288,514	43,406
その他	42,013	8,998
投資その他の資産	165,838	36,883
繰延資産	18	33
資産合計	2,957,665	105,411

固定資産の減少は償却、除売却による減少のほか、JTインターナショナルの貸借対照表を連結する際に適用する為替レートが131.95円(2002年3月期)から119.90円(2003年3月期)へと円高になったことも影響しています。

「連結調整勘定」とは事業取得時の取得価額と時価純資産額との差額です。RJRインターナショナル(現JTインターナショナル)や鳥居薬品(株)、(株)ユニマツコーポレーション(現(株)ジャパンビバレッジ)株式取得時に生じました。

商標権の主な内容は、RJRインターナショナル(現JTインターナショナル)取得時にあわせて取得したCAMEL、Winston、Salemといったグローバル・フラッグシップ・ブランドの商標権です。

「投資その他の資産」の減少の主な要因は投資有価証券の売却および減損によるものです。

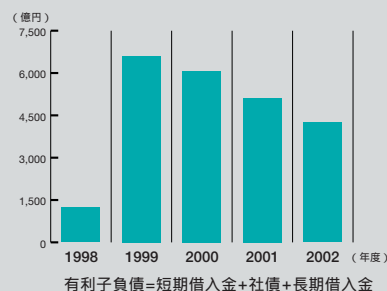
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	2003年3月期 (2003年3月31日現在)	対前期増減
<b>負債の部</b>		
流動負債	594,742	68,461
固定負債	689,196	47,983
負債合計	1,283,938	116,444
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	51,071	1,483
<b>資本の部</b>		
資本金	100,000	-
資本剰余金	736,400	-
利益剰余金	789,912	58,077
その他有価証券評価差額金	2,632	1,227
為替換算調整勘定	6,290	49,755
資本合計	1,622,654	9,549
負債、少数株主持分及び資本合計	2,957,665	105,411

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 有利子負債の推移



有利子負債は1999年度、RJRインターナショナルの買収時に大幅に増加いたしました。以降、年間1,000億円を超えるフリーキャッシュフロー(注)から着実に返済を進め、2003年3月期は872億円減の4,244億円となりました。

(注)2000～2002年度の年間平均フリーキャッシュフローは約1,700億円



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2003年3月期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	対前期増減
売上高	4,492,263	51,910
売上原価	3,569,393	29,401
売上総利益	922,869	22,509
販売費及び一般管理費	733,906	47,667
営業利益	188,963	25,157
営業外収益	9,340	1,895
営業外費用	25,072	6,710
経常利益	173,231	16,552
特別利益	18,347	11,745
特別損失	49,080	39,447
税金等調整前当期純利益	142,498	44,254
法人税、住民税及び事業税	60,006	5,062
法人税等調整額	1,808	23
少数株主利益	5,381	718
当期純利益	75,301	38,451

海外たばこ事業、食品事業の売上高は増加しましたが、国内たばこ事業における販売数量の減少を主因として、売上高は減少しました。

早期希望退職の実施に伴う人件費の減少のほか、販売促進費、研究開発費等の減少により、販売費及び一般管理費は減少しました。

前期に生じた早期希望退職の実施に伴う退職特別加算金、海外たばこ事業における事業構造強化費用が減少したため、特別損失が減少しました。

経常利益の増加、特別損失の減少により、当期純利益は大幅に増加しました。

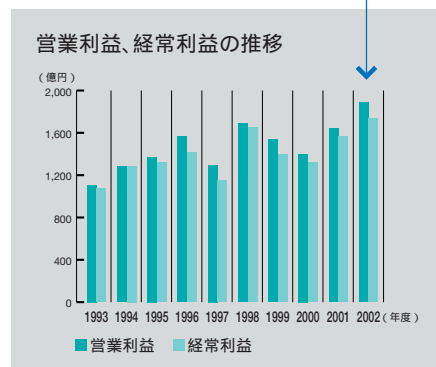
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2003年3月期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	対前期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,056	168,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,876	34,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	111,967	12,869
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,310	7,446
現金及び現金同等物の増減額 (減少)	67,901	139,349
現金及び現金同等物の期首残高	534,503	69,057
新規連結子会社の現金及び 現金同等物の期首残高	238	2,150
現金及び現金同等物の期末残高	602,644	68,140

2003年3月期の営業利益、経常利益はともに会社化以降の最高益となりました。



# 単独財務諸表

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2002年3月期 (2002年3月31日現在)	2003年3月期 (2003年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>861,854</b>	<b>898,537</b>
現金及び預金	128,611	69,383
受取手形	664	525
売掛金	57,166	53,408
有価証券	255,469	18,567
商品	3,331	2,394
製品	30,885	30,071
半製品	188,122	175,351
原材料	121,462	107,370
仕掛品	5,944	14,158
貯蔵品	8,336	8,773
前渡金	25,908	27,098
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	77	349,394
繰延税金資産	12,077	13,295
その他	23,948	30,076
貸倒引当金	152	1,331
<b>固定資産</b>	<b>1,684,991</b>	<b>1,611,087</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>520,759</b>	<b>518,170</b>
建物	248,257	243,197
構築物	11,573	12,351
機械及び装置	81,127	77,923
車両及び運搬具	198	209
器具及び備品	12,354	12,578
土地	155,539	154,798
建設仮勘定	11,708	17,112
<b>無形固定資産</b>	<b>251,097</b>	<b>214,339</b>
特許権	22,348	17,883
商標権	208,378	179,463
その他	20,370	16,992
<b>投資等</b>	<b>913,134</b>	<b>878,576</b>
投資有価証券	88,251	56,864
子会社株式・出資金	759,417	762,406
長期貸付金	10,962	14,284
長期前払費用	12,255	10,236
繰延税金資産	44,332	38,348
その他	11,081	7,012
貸倒引当金	7,667	4,057
投資評価引当金	5,500	6,518
<b>資産合計</b>	<b>2,546,846</b>	<b>2,509,624</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	2002年3月期 (2002年3月31日現在)	2003年3月期 (2003年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>365,671</b>	<b>326,512</b>
買掛金	16,480	16,883
一年以内返済予定の長期借入金	65,233	46,324
未払金	95,904	64,793
未払たばこ税	48,881	49,122
未払たばこ特別税	14,758	14,830
未払地方たばこ税	65,375	62,866
未払法人税等	8,326	24,754
未払消費税等	25,607	23,780
賞与引当金	11,965	11,865
その他	13,137	11,291
<b>固定負債</b>	<b>591,749</b>	<b>549,926</b>
社債	272,000	272,000
長期借入金	109,543	63,219
退職給付引当金	173,136	175,772
役員退職慰労引当金	364	313
預り敷金及び保証金	32,992	37,051
その他	3,713	1,568
<b>負債合計</b>	<b>957,421</b>	<b>876,438</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>100,000</b>	<b>100,000</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>736,400</b>	<b>736,400</b>
資本準備金	736,400	736,400
<b>利益剰余金</b>	<b>754,696</b>	<b>795,785</b>
利益準備金	18,776	18,776
任意積立金	676,720	711,705
特別償却準備金	504	407
圧縮記帳積立金	39,961	43,678
圧縮記帳特別勘定	2,955	10,119
別途積立金	633,300	657,500
当期末処分利益	59,198	65,303
(当期利益)	(51,146)	(57,228)
株式等評価差額金	1,670	1,000
<b>資本合計</b>	<b>1,589,425</b>	<b>1,633,185</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,546,846</b>	<b>2,509,624</b>

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	2002年3月期 (2001年4月1日から 2002年3月31日まで)		2003年3月期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	
<b>経常損益の部</b>				
<b>営業損益の部</b>				
営業収益	2,744,632	2,641,892		
売上高	2,744,632	2,641,892		
営業費用	2,626,005	2,519,041		
売上原価	2,180,640	2,098,798		
販売費及び一般管理費	445,365	420,242		
営業利益	118,626	122,850		
<b>営業外損益の部</b>				
営業外収益	17,902	17,085		
受取利息	302	270		
有価証券利息	510	267		
受取配当金	9,820	10,227		
子会社等賃貸収入	2,353	2,561		
その他	4,916	3,758		
営業外費用	15,189	18,542		
支払利息	3,048	2,214		
社債利息	4,856	4,856		
為替差損	-	2,698		
たばこ災害援助金	897	713		
その他	6,388	8,060		
経常利益	121,339	121,393		
<b>特別損益の部</b>				
特別利益	26,941	16,477		
固定資産売却益	26,941	15,190		
その他	-	1,287		
特別損失	63,252	39,863		
固定資産売却損	1,484	2,709		
固定資産除却損	7,447	6,956		
退職特別加算金	28,563	-		
事業構造強化費用	-	6,485		
退職給付会計基準変更時差異処理額	4,803	4,803		
投資有価証券評価損	12,592	10,901		
投資有価証券売却損	-	5,047		
契約変更補償金	5,000	-		
事業整理損	3,361	1,867		
子会社株式売却損	-	1,093		
税引前当期利益	85,027	98,007		
法人税、住民税及び事業税	27,539	37,884		
法人税等調整額	6,341	2,894		
当期利益	51,146	57,228		
前期繰越利益	16,052	16,075		
中間配当額	8,000	8,000		
当期末処分利益	59,198	65,303		

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 利益処分

(単位:百万円)

科目	2002年3月期 (2001年4月1日から 2002年3月31日まで)		2003年3月期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	
当期末処分利益	59,198	65,303		
任意積立金取崩額				
特別償却準備金取崩額	100	94		
圧縮記帳積立金取崩額	873	1,965		
圧縮記帳特別勘定取崩額	907	5,075		
別途積立金取崩額	-	73,000		
合計	61,081	145,439		
利益処分額				
利益配当金	8,000	12,000		
	(1株につき4,000円)	(1株につき6,000円)		
役員賞与金	139	118		
(うち監査役賞与金)	(23)	(23)		
任意積立金				
特別償却準備金	3	7		
圧縮記帳積立金	4,590	10,868		
圧縮記帳特別勘定	8,072	441		
共済年金給付負担積立金	-	102,000		
別途積立金	24,200	-		
次期繰越利益	16,075	20,003		

(注)1. 特別償却準備金、圧縮記帳積立金および圧縮記帳特別勘定の取崩額ならびに特別償却準備金、圧縮記帳積立金および圧縮記帳特別勘定の積立額は、租税特別措置法に基づくものであります。

2. 別途積立金の取崩額および共済年金給付負担積立金の積立額は、2004年3月期における共済年金負担金の引当金計上に備えるためのものであります。

3. 2001年12月10日に8,000百万円(1株につき4,000円)の中間配当を実施いたしました。

4. 2002年12月10日に8,000百万円(1株につき4,000円)の中間配当を実施いたしました。



## 文豪たちとたばこ 「山本周五郎」



万治三年七月十八日。

幕府の老中から通知があって、伊達陸奥守の一族伊達兵部少輔、同じく宿老の大条兵庫、茂庭周防、片倉小十郎、原田甲斐。そして伊達家の親族に当る立花飛弾守ら六人が、老中酒井雅楽頭の邸へ出頭した。

と始まる歴史小説「樅ノ木は残った」は、それまで、お家乗っ取りを企む伊達兵部の腹心という評価であった原田甲斐の人的魅力を余すことなく書ききった山本周五郎の代表作。

人が権力の前に裸で立たざるを得なくなったときこそ、その人間のまがうことのない価値が現れる。永久に汚名を負うことも甘受して自らの信じるものに殉じた主人公原田甲斐は山本の分身であり、作家の人格の反映と言えるだろう。

山本周五郎は同僚の文士尾崎士郎から「曲軒」（へそ曲がり）と呼ばれたとおり、独自の視点から社会を見つめ、近代化・効率化のなかで片隅に追いやられていく「優しさ」や「思いやり」信

頼」をテーマに多くの読者を惹きつけた。そして、無類のたばこ好きでも知られる。

山本は常に二つの灰皿を用意していたという。一つは水がはいった灰皿。もう一つは吸っているたばこの灰を落とすためと、吸い終わったたばこを捨てるためのものだった。

「たばこを灰皿でもみ消し、汚したままでは、洗う人に申し訳ない」という気配りと、火の不始末への用心からだという。

こんなところからも一見無骨な山本の繊細さを伺うことができる。

# New Face

[ 新商品開発ストーリー ]

## 「ルーシア」



### 「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」

製品サイズ	フィルター付100mmスリムサイズ
フィルタータイプ	プレーンフィルター
タール値	5mg
ニコチン値	0.3mg
包装形態	20本入ラウンドボックス
定 価	280円 / 20本入 (2003年7月1日から300円 / 20本入)

JTでは、たばこのにおい・煙が少ない、新製品「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」を、2月3日より、東京限定で発売しました。

爽やかなシトラス風味のメンソール「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」を、2月3日より、東京限定で発売しました。

近年、たばこのにおいや煙に対するお客さまの意識が高まっており、「周囲や部屋に残るたばこのにおいが気になる」においや煙が少ない製品を発売してほしいとの声をいただいています。

### 美味しさをそのままに、気になる「におい」を抑えた

「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」は、このようなお客さまのご要望におこたえするために、たばこのにおいを抑える効果のある新開発のシトラスフレーバーを採用して、たばこのにおいを低減しています。パッケージの裏面を御覧いただくと、「新開発のシトラスフレーバー(特許出願済)が、たばこのにおいを抑えてくれます。」と記載している通り、香気・臭気のなかから「たばこのにおい」と感じるもとなっている幾つかのにおい成分を特定し、その成分をピンポイントで抑えるマスキング香料を開発しました。選択的マスキングは抑えたい「におい」だけをピンポイントで抑える香料技術ですので、メンソールの爽やかな美味しさをそのまま残し、気になるたばこの「におい」を抑えることができました。

### 二重巻紙で副流煙を抑えた

煙については、たばこの先から出る煙を巻紙の外へ流出しにくくする効果を高めるために、通常の巻紙よりも外側の巻紙を厚くするなどの技術的な工夫を施した新開発の二重巻紙を採用して、たばこの先から立ち昇る副流煙を抑えています。巻きの白さ・清潔感を高めるデザイン上の観点からも、通常の巻紙にある圧線(巻きを縦に見たときに巻紙についている横線)がないことも特徴です。

### 味もデザインも「爽やか」

喫味は、すっきりとした強めのメンソール感とシトラス風味(柑橘系果実の味・香り)がほどよくマッチした、100mmスリムサイズのメンソール製品です。

パッケージは、清潔感のある白地を基調に、ブランド名の頭文字「L」を象徴的に配した、爽やかで洗練されたデザインに仕上がっています。「ルーシア」というネーミングは「透明な」「輝く」などを意味する「lucent」を由来としています。



### 開発担当者よりひとこと

「ルーシア」の一番の特徴は、気になるたばこの「におい」を徹底的に低減したことです。新開発のシトラスフレーバーがたばこのにおい成分をピンポイントで抑えてくれるので、たばこのおいしさはそのままに、部屋、服、髪に残るにおいが気になりません。愛煙家の方に、より快適にたばこを楽しんでいただきたいとの想いが込められた製品です。

(たばこ事業本部 ブランドマネージャー 木田江利子)

# New Products

[ 新製品紹介 ]

## マイルドセブンの1mgが斬新なデザインで新登場「マイルドセブン・ワン」 3月3日より全国発売



近年、超低タール製品の中でも特にタール1mg製品の市場は順調に伸長しています。また、マイルドセブン・ファミリーをご愛用のお客さまを中心に「タール1mgのソフトパック製品も発売してほしい」とのご要望を頂いていました。

今回発売した「マイルドセブン・ワン」は、マイルドセブンの喫味特徴である「すっきりとした味・香り」を継承させた上で、さらなる吸いやすさと口当たりの良さを追求したタール1mg製品です。

「マイルドセブン・ワン」

製品サイズ	フィルター付キングサイズ
フィルタータイプ	デュアルチャコールフィルター
タール値	1mg
ニコチン値	0.1mg
包装形態	20本入ソフトパック
定 価	250円 / 20本人( 2003年7月1日から270円 / 20本人 )

## 「渋茶」「紅烏龍」「トワイニング レディグレイ ストレートティー」が新たにラインナップ



「渋茶」は、私たちが「緑茶の基本」と考える「ほどよい苦渋み」と「広がる香り」「上質な味わい」すべてを兼ね備えた緑茶です。

「紅烏龍」は、たっぷり熟した、烏龍茶の中で発酵度の高い「紅烏龍茶葉」を100%使用。豊かな香りとやわらかい味わいに烏龍茶らしいキレを実現した「味わえる烏龍茶」です。

そして、新登場「トワイニング レディグレイ ストレートティー」は、華やかな香りに上品さが漂う「TWININGS™」ブランドの紅茶です。

「渋茶」「紅烏龍」「トワイニング レディグレイ ストレートティー」

渋 茶	500ml	希望小売価格140円	3月10日新発売
紅烏龍	490g	希望小売価格140円	3月24日新発売
トワイニング レディグレイ ストレートティー	500ml	希望小売価格140円	4月7日新発売

## 2003年春の冷凍調理品新商品「お弁当大人気!」シリーズ 3月1日より全国発売



バラエティー豊かな「お弁当大人気!」シリーズに、この春新たな3商品が加わりました。冷めてもジューシーな「デミグラスソースのハンバーグ」ふっくら卵で包まれた「新鮮卵のミニオムそば」、一口サイズになった「カレー男爵Jr.」家庭の人気メニューがお弁当でも味わえます。また、「いまだき和膳」4品、スナック2品も新発売です。



「お弁当大人気!」

デミグラスソースのハンバーグ	4個入り(160g)	希望小売価格290円
新鮮卵のミニオムそば	4個入り(140g)	希望小売価格260円
カレー男爵Jr.	8個入り(184g)	希望小売価格270円

# Brand History

[ ブランドヒストリー ]

## マイルドセブン(前編)

### スーパーブランド誕生

発売から約四半世紀、その間、常にトップブランドであり続け、現在もファミリー全体で1,000万人のファンを持つスーパーブランド「マイルドセブン」はどのようにして生まれたのか。その誕生の背景に迫る。

発売当時のポスター



### 新ブランド開発への期待

昭和30年代、アメリカの愛煙家の間でより軽いタバコが好まれる傾向が徐々に明らかになり、フィルター付きのタバコが次々と誕生する。その動きは日本にも飛び火し、昭和40年代に入って、「軽くてうまいタバコが欲しい」というニーズは高まっていくばかりだった。

そうした中、昭和50(1975)年12月に定価改定が実施された。平均48%という大幅な値上げは、戦後初のマイナス成長という経済状況と相まって、それまで順調に伸びていたタバコ需要の停滞を招くことになる。専売公社内では、この停滞を打破する大型ブランド開発を待望する声が次第に大きくなっていった。

新ブランド開発にあたって考慮されたのは、まったく新しいブランドをゼロから作り出すか、あるいは、すでにあるブランドを基本形として、さらに発展させたものを作るかだった。まったく新しいブランドを構築するとなると、開発に時間がかかる上に、認知されるまでもに長期的な展望が必要になってくる。売り上げの伸び悩みの解消は一刻を争う課題であった。これにより、既存ブランドを活用する方針が決定された。



発売当時の  
マイルドセブン



新ブランドは、当時のナンバーワンブランド「セブンスター」のバージョン品として開発されることになった。高い支持を受け、知名度抜群の「セブンスター」のイメージを生かしつつ、軽い喫味を実現する新しいたばこの形がおぼろげながらできつつあった。

## 待望の新製品が完成

新ブランドは、「セブンスター」が採用したチャコールフィルターを継承することが決まった。これに、「チェリー」などで使われていたアメリカンブレンドを組み合わせるのだ。

アメリカンブレンドは特定の葉たばこの味に依存するのではなく、多種類の葉のブレンドによって、複雑な味わいを出していく手法だ。この方法だと、軽い喫味への対応が可能になる。品質が安定しやすく、大量生産に向いているという利点もあった。

チャコールフィルターとアメリカンブレンドの組み合わせは、今でこそ広く普及しているものの、その当時は「峰」の銘柄が存在するのみで、一般的なものとは言えなかった。しかし、この取り合わせが、軽さの中にふくよかな香りとうまさがある、新しい喫味を生み出すことになる。

開発着手からわずか半年余りの昭和52(1977)年、「セブンスター」の流れを汲みながら、独自の魅力も備えた新しいブランドが「マイルドセブン」という名前でこの世に生を受けた。

ネーミングにあたっては、「ソフトセブン」「スターライト」など、「セブンスター」のライトバージョンであることを連想させる候補が多数挙がった。

その当時、マイルドという単語はそれほど日本人になじみのある言葉ではなく、たばこの軽さを表す

にはライトを使うべきだという意見もあった。しかし、単に軽さを意味するライトではなく、やさしさや穏やかさなど、イメージに広がりのあるマイルドが選ばれた。この命名

が、高度成長時代も終わりを告げようとし、やさしさを求め始めていた時代の空気を見事にとらえていた。マイルドという言葉は、「マイルドセブン」とともに、広く一般に浸透していくことになる。

## ナンバーワンブランドへ

こうして完成した「マイルドセブン」だが、試作段階では、専売公社内部での評価は必ずしも高くなかった。あまりに軽すぎるため、「チェリー」や「セブンスター」といった当時としては軽い喫味のたばこになじんだ人ですら「マイルドセブン」の軽さには違和感を感じたという。

しかし、実際には、市場に出るやいなや、「マイルドセブン」は急速に愛煙家の心をつかんでいった。昭和52(1977)年6月のテスト販売から、わずか5カ月後に全国発売となり、さらに、その8カ月後には、「セブンスター」を抑えてトップブランドの地位をつかむと、これ以降も長期にわたってナンバーワンに君臨し続ける。

その歩みは、商品展開や広告戦略などいくつかの分野で、日本のたばこの一つのスタンダードとなる、新たな価値観を創り出していくことになるのだ。

(後編へ続く)



現在のマイルドセブン

# Events

[ 企業PRイベント紹介 ]

## 「本気と出会う」 JT将棋日本シリーズ

JTはさまざまな企業PRイベントを通じて社会にメッセージを発信しています。今回はその一つとして、昭和55年度からスタートし今年で24回を数える、歴史あるイベント「JT将棋日本シリーズ」をご紹介します。

なお、最新のイベント情報についてはJTホームページ( <http://www.jti.co.jp/> )をご覧ください。

### “本気の出会いを大切にしたい”

トップ棋士による公式戦唯一の完全公開対局

人と人が正面から本気でぶつかり合う「真剣勝負」が将棋の魅力。コミュニケーションの希薄化が問題となっている昨今、日本伝統の知的勝負を通じて「本気の出会い」を大切にしたいというJTのメッセージが込められています。

「JT将棋日本シリーズ」の出場資格は、前年度のJT杯優勝者、毎年4月1日時点の公式戦7大タイトルホルダー、同じく4月1日発表の順位戦ランキング上位者の順に12名に限られています。本大会は、これらトップ



棋士による公式戦唯一の完全公開対局で、まさにプレミアムイベントと呼ぶにふさわしい大会です。

### “善い大人になってほしい”

「こども大会」を同時開催

「JT将棋日本シリーズ」では「こども大会」を同時開催しています。

盤を挟んで一対一で向き合う将棋には、こどもたちの成長に大切なエッセンスがたくさん詰まっています。礼儀や思いやり、相手への理解・共感、そして勝



つ喜びや、こみ上げる悔しさを学ぶ場所でもあります。将棋を通じていろいろなことを学んでほしい。JTの想いです。

### “全国の方にJTの想いをお伝えしたい”

全国12地区で開催(東京地区は「こども大会」のみ開催)

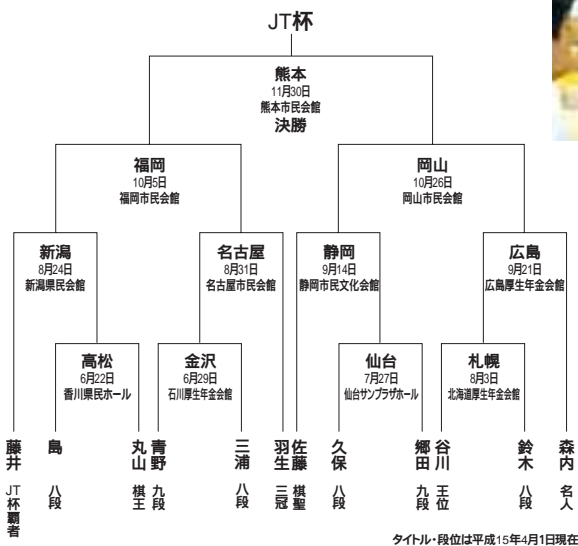
「JT将棋日本シリーズ」は、新聞社やテレビ局など地域メディア等との共催により、北海道から九州まで全国12地区で開かれる地域密着型の大会です。公式戦を見る機会の少ない地方のファンに、ライブで「真剣勝負」の熱戦を楽しんでいただきたいという想いからです。

東京地区「こども大会」については2003年度から新規開催となります。

将棋に親しみたいこどもたちやお母さんにとっては、近場で気軽に「こども大会」に参加できるのも人気の秘密です。ご参加に関しましては、JTホームページ( <http://www.jti.co.jp/shogi/> )をご覧ください。



2003年度「JT将棋日本シリーズ」トーナメント



2003年度「JT将棋日本シリーズこども大会」日程 & 会場一覧

実施日	地区	会場
6月21日	高松	香川県民ホール
6月28日	金沢	石川県産業展示館
7月26日	東北	山形ビックウイング
8月 2日	札幌	札幌コンベンションセンター
8月10日	新潟	朱鷺メッセ国際会議場
8月30日	名古屋	ポートメッセなごや
9月 6日	静岡	ツインメッセ静岡
9月20日	広島	NTTクレドホール
10月 4日	福岡	津屋崎町カメリアホール
10月11日	東京	両国国技館
10月25日	岡山	RSKメディアコム
11月29日	熊本	グランメッセ熊本

自己チュウ退治に将棋は格好の素材でしょう — 米長邦雄 永世棋聖(東京都教育委員)

教育委員をやっている、不登校児童や生徒の質が最近変わってきたということに気が付きました。外部的な環境や学力的な落ちこぼれから、自己中心的価値観で周囲との関係を閉ざすという傾向への変化です。そこでちょっと考えてみると、この傾向はなにも不登校だけのことではないということに思い至りました。「自己チュウ」というコトバが盛んに使われているように、特に若い世代で自己中心の世界に浸っている人が増大している。これは重要な問題で、なんとかしなければと痛感しています。そのためには、楽しい仲間をつくって他人に心を開くことを覚えてもらわなくてはならない。仲間との交流を促し、仲間と一緒にいることの喜びに気付かせ、そして相手の身になって考えることを習慣付けるという教育をしなければならないのです。ライバルと出会い、楽しさと同時に悔しさや心の痛みをも感じることでできる将棋は、そうした教育の格好の素材といえるでしょう。

# MEET YOUR DELIGHT

2002年4月。私たちJTは「全てのステークホルダーの皆さまに「かけがえのないディライト」を約束・実現していくこと」を、新しいJTグループミッション「JT Brand・ing宣言」として発表いたしました。

あらゆる企業活動を通じて、あらゆる場面で、お客さま、社会、社員、そして株主の皆さま、それぞれのステークホルダーの皆さまに期待以上の喜びを提供すること。100%の満足を超えたJTならではの価値「ディライト」を約束し、実現し続けること。私たちはこれを

あなたのかげがえのない喜びと出会うために、私たちは、かけがえのない存在でありたい。私たちは、JTです。

「Brand・ing(ブランディング)」と定義し、自らのミッションとしています。かけがえのないディライトの提供こそが、ステークホルダーの皆さまからの支持につながり、さらなる成長のドライバーとなると私たちは確信しております。

## JTブランディング宣言から実践へ

このような考えから、私たちJTは「MEET YOUR DELIGHT JT」のスローガンのもと、ブランディングの実践に取り組んでおります。

2002年10月からは新しい企業広告をテレビCM、雑誌広告で展開しております。私たちJTが社会にさまざまなディライトをお届けしていることを、ブランド、商品、施策にかかわる社員自らが出演し、その「想い」や“こだわり”を語ることで広く多くの方々にお伝えしていこうと考えております。

JTは「かけがえのないディライトを提供するブランディングカンパニー」を目指しています。



# Topics

[トピックス]



## 愛煙家の皆さまに快適な喫煙スペースを提供する SmoCar(スモーカー)がデビュー

JTは最近のたばこを取り巻く社会的状況などから、結果として愛煙家の方々が喫煙を楽しむ場所が少なくなっていることを認識しており、公共の場での喫煙環境の整備とともに、愛煙家の方々の喫煙の不便軽減に向けた取り組みの一環として「SmoCar(スモーカー)」を開発しました。JTは今後も愛煙家とたばこをお吸いにならない方の協調ある共存を目指し、快適な喫煙場所の提供や、分煙システムの提案などを行っていきたく考えています。

### どこにあるの？

ようこそスモ - カ - ヘ! 1月20日から東京・大手町の東京サンケイビル・メトロスクエアフラットに設置されています。

設置場所: 東京都千代田区大手町1-7-2

東京サンケイビル・

メトロスクエアフラット

月曜日～金曜日(祝日を除く)

8:00～21:00

ただし、メトロスクエアフラットで実施されるイベントなどにより、運営日時を変更する場合があります。



### SmoCarってどんなもの？

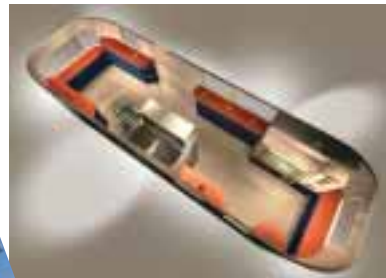
トレーラーハウスをスタイリッシュに改造し、愛煙家の皆さまに快適な喫煙スペースを提供しています。

長さ: 8.3m、幅: 2.2m、高さ: 2.7m

室内はカウンターのみスタンディングスタイル

室外のテーブル席20席

室内には換気に配慮した2台の空気清浄機と3台の換気扇、特別に改良された2台のエアコンと、オゾン脱臭機を1台備えています。室外にはくつろいで喫煙していただけるテーブル席を設けます。



愛煙家の皆さまに、よりご満足いただけるよう、コーヒー、清涼飲料水のほか、ライター、携帯灰皿などのたばこに関連するグッズも販売しております。

缶ビール(対面販売15:00～21:00)



「大人のたしなみ」や「こだわりのあるライフスタイル」等を提案するフリーペーパー「Filter(フィルト)」も設置しております。

# 株式の諸手続に関するFAQ(よくあるご質問)

## 名義書換をするには？

新たに株式を購入されたり、保管振替制度のご利用を取りやめられた時には、お早めに名義書換の手続きをお取りください。名義書換の手続きがお済みでない場合には、株主総会の招集ご通知をはじめとした各種郵送物がお手元に届かないばかりでなく、配当金等のお支払いについても以前の名義の方に支払われることとなります。

### 名義書換の手続き

#### 三菱信託銀行にお越しいただく場合

三菱信託銀行の本支店へ、株券と印鑑 お届出印となります)をご持参ください。その場で名義書換請求書にご記入していただき、いったん株式をお預かりして手続きをさせていただきます。手続きが終了し、お手元に株券が戻るまでには10日前後かかります。**書換手数料は不要です。**

#### 証券会社を通じて行う場合

証券会社でも名義書換を依頼することができます。必要なものは三菱信託銀行にお越しいただく場合と同じですが、**書換手数料がかかります。また場合によっては手続きに時間がかかることもありますので、手数料額・所要日数等詳しくは当該証券会社におたずねください。**

#### 郵便をご利用の場合

名義書換請求書を郵送するなど、名義書換に郵便をご利用になることもできます。詳しくは三菱信託銀行にお問い合わせください。

## 住所変更をするには？

株主総会招集ご通知、郵便振替支払通知書(配当金通知書)等のご登録の住所宛に送付させていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、当社の名義書換代理人であります三菱信託銀行へ速やかにお届出をお願いいたします。

### 住所変更の手続き

#### 三菱信託銀行にお越しいただく場合

三菱信託銀行の本支店へ、お届出印をご持参ください。その場で変更届にご記入し、ご提出していただきますと、手続きをさせていただきます。手数料は不要です。

#### 郵便をご利用の場合

三菱信託銀行にお電話いただきますと、変更届をご送付いたしますので、必要事項をご記入のうえ、ご返

送ください。株券のご提出は不要です。ご返送の費用についてはご負担いただくこととなりますが、それ以外には手数料はいただきません。

## 配当金の受取方法は？

### 配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。**

現金受取をご選択の株主さまには、郵便局で受け取りができる証書(郵便振替支払通知書)を送付いたしますので、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

口座振込をご選択の株主さまには、あらかじめご指定いただいた銀行・郵便局等の口座に配当金が直接振り込まれます。また、利益(中間)配当金計算書が送付されます。

### 現金受取から口座振込への変更

現在、現金受取を選択されており、これから金融機関等への口座振込を希望される株主さまは、当社の名義書換代理人であります三菱信託銀行へご連絡ください。

## 配当金関係の書類が届かない場合、または郵便振替支払通知書を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけなくなっている株主さまは、三菱信託銀行へご連絡ください。

## 株式の諸手続についての問い合わせ先は

当社株式の手続きにつきましては、下記、当社の名義書換代理人であります三菱信託銀行までお問い合わせください。また、同行本店ならびに全国各支店におきましても各種手続きのお取り次ぎをいたしますのでご利用ください。なお、住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書はフリーダイヤルにてご請求いただけます。

### お問い合わせ先

三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
電話(03)5391-1900(代表)  
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

### 郵便物送付先

三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号

### 各種手続用紙のご請求

フリーダイヤル 0120-86-4490  
(三菱信託銀行 24時間テレホン自動音声応答サービス)

# 役員

## 取締役(2003年6月25日現在)

代表取締役会長	小川 是
代表取締役社長	本田 勝彦
代表取締役副社長	箕 正三
取締役副社長	堀田 隆夫
取締役副社長	梅野 實
取締役副社長	小幡 一衛
取締役	金森 哲治
取締役	加藤 隆

## 監査役(2003年6月25日現在)

常勤監査役	野呂 幸弘
常勤監査役	田中 寿
監査役	成田 正路
監査役	村山 弘義

## 執行役員(2003年6月25日現在)

社長	(たばこ事業本部長 兼 印刷事業・特機事業担当)
副社長	(財務・コーポレートコミュニケーション・不動産担当)
副社長	(コンプライアンス・総務・制度対策・法務・監査担当)
副社長	(企画グループリーダー 兼 人事労働・アグリ事業担当)
副社長	(食品事業本部長 兼 飲料事業部長)
常務執行役員	(医薬事業部 医薬科学責任者)
常務執行役員	(たばこ事業本部 原料統括部長)
常務執行役員	(たばこ事業本部 製造統括部長)
常務執行役員	(たばこ事業本部 商品グループリーダー)
常務執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長)
常務執行役員	(たばこ事業本部 副本部長)
常務執行役員	(コーポレートコミュニケーション グループリーダー)
常務執行役員	(たばこ事業本部 研究開発統括部長 兼 渉外企画担当)
執行役員	(医薬事業部長)
執行役員	(法務部長)
執行役員	(たばこ事業本部 製品開発統括部長)
執行役員	(たばこ事業本部 営業統括部長)
執行役員	(医薬事業部 臨床開発部長)
執行役員	(財務グループリーダー)
執行役員	(不動産・アグリ事業・印刷事業・特機事業担当)
執行役員	(食品事業本部 事業企画部長)
執行役員	(総務部長 兼 制度対策担当)
執行役員	(食品事業本部 食品事業部長)
執行役員	(人事労働グループリーダー)

本田 勝彦
箕 正三
堀田 隆夫
梅野 實
小幡 一衛
金森 哲治
宮本 積
牧野田 睦
西澤 省悟
松永 康正
石黒 繁夫
伊東 映仁
勝浦 秀夫
熊倉 一郎
加藤 隆
下村 隆一
佐藤 活文
西原 孝治
大木 史郎
戸谷 真一
住川 雅明
塩澤 義介
山田 良一
小林 一夫
小泉 光臣

# 株式の状況

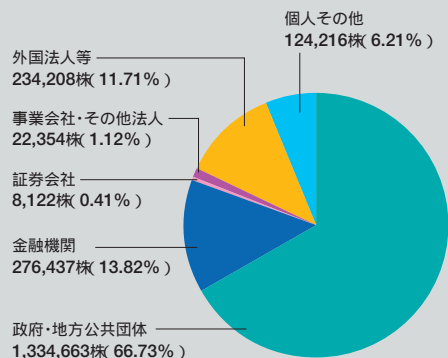
## 株式の状況(2003年3月31日現在)

(1) 会社が発行する株式の総数	8,000,000株
(2) 発行済株式の総数	2,000,000株
(3) 株主数	68,960名

## 所有者別株式分布状況

### 株式数

(2003年3月31日現在)



## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先 郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表) (受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
各種手続用紙のご請求	住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙および株式の相続手続 依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル(0120-86-4490) で24時間承っておりますので、ご利用ください。

MEET  
YOUR  
DELIGHT 

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

電話:03-3582-3111

<http://www.jti.co.jp/>

 再生紙(古紙100%)を使用しています